

The 健康応援隊!.....♡

□腔機能検査をしてみませんか

□は、噛む・飲む・味わう・呼吸する・話すなど、元気に自分らしくいきいきと生活するために、大切な働きを担っています。

平成23年の歯科疾患実態調査（厚生労働省実施）では、8020達成者（80歳で20本以上の歯を有する者）は3人に1人以上となり、過去最高になりました。その反面、成人の約8割が歯周病にかかっていると言われます。

歯周病とは、炎症により歯肉と歯を支えている組織を破壊する病気の総称で、歯を失う最も大きな原因です。また、さまざまな研究結果から、歯周病が多くの疾患に影響を及ぼし、その発症や進行のリスクとなることも明らかになってきました。

例えば、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患。心臓の動脈で、血液の流れが悪くなり、血管が閉塞されて生じる病気で、歯周病にかかっていると、心疾患の発症リスクは1・15〜1・24倍高まると言われます。

他にも、糖尿病や誤嚥性肺炎・早産などにも関わりがあります。

歯周病の予防と治療は、歯を失うことを防ぎ、□の機能を維持するだけでなく、全身の健康を守ることもつながります。

今年度、町では生活習慣病予防教室（13ページにて募集中）において、歯周病が全身に及ぼす影響の講話と、「□腔機能検査」を実施します。

□腔機能検査は、「唾液による潜血検査（出血の有無を見ます）」と「ガムによる噛む力の検査」で、簡単かつ迅速に判定ができます。

健康の源である食事を一生自分の歯で食べるために、むし歯に気をつけることと同時に、□の機能を維持していくことにも気をつけたいものです。

この機会に、□腔機能検査を受け、お□の健康を見直してみませんか。

（健康福祉課 保健師）



学校コーナー

考え
進め
未来へ



五 霞
中学校

平成27年度 生徒会本部役員

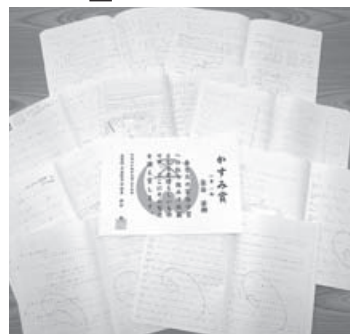


◆「黙働」
僕たち五霞中生は、給食後毎日15分間誰一人として話すことなく協力して掃

平成27年度がスタートして2か月が経ちました。今年度は、全生徒236名で、学習や部活動等に精一杯取り組んでいます。五霞中の中心として活躍している生徒会役員の、五霞中に対する「思いや願い」をご紹介します。



◆家庭学習への取組「かすみ賞」
除に取り組んでいます。校舎だけでなく「自分の心」もきれいに磨き、毎日気持ちよく生活できるよう全生徒で取り組んでいます。
（会計）山田和輝・藤城陸



◆僕たち生徒会が目指す五霞中
今年度の生徒会のスローガンは「REBO RN」です。これまでの五霞中のよい伝統に加え今までもは一味違う学校にしたいと考えています。一人ひとりの個性を活かし、より充実した学校に生まれ変わらせたいと考えています。そして、お互いの良さを認め合い高め合える学校にしていきたいです。
（会長）藤沼蒼湖

◆地域のイベントと五霞中サウンド
吹奏楽部は、圏央道の開通イベントを始め、多くの町内のイベントに参加させていたでいています。イベントを通して、参加者を笑顔にするこの喜びや地域に関わることの大切さを学びました。これからも、五霞中サウンドを響かせ多くの人を笑顔にしたいです。
（副会長）中村明希子・青柳優衣

（副会長）中村明希子・青柳優衣

